ドイツ連邦食料・農業省　　農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 10
2022・8・15

1 オズデミール大臣：ウクライナ戦争による食料不足への緊急対策

ー輪作体系の一部を中断し小麦の増産をー　（2022・8・6）

各州への提案：安定した種の多様性を保持する農地は保護される。輪作転換に際して例外を可能とする。連邦食料・農業省（BMEL）オズデミール大臣は、EU －委員会の決定実践のために、連邦政府内で合意した提案を、昨日（8 月 5 日）に送付した。これは補助金の対象になっている輪作と農地休耕の中断の提案を行ったものである。

これについて大臣が説明した：”プーチンは”飢餓を弄び、そして世界中で最も貧しい人々を犠牲にしている。同時に飢餓地域は、既に気象危機で大きな打撃を受けている。そのため、私にとってこの戦争の問題解決のための対策を、再検討しなければならない。他の危機が一層厳しくなる前に、ドイツにおける農業は生産の継続で穀物市場を、安定させることを通じて食料を供給している。

EU は先週この実践のための枠組みを決定した。私は昨日各州に、2023 年のドイツにおける輪作と休耕地を、一時的に中断するための委員会提案に対する私の決定を提示した。我々の農業者は、この数週間内に種まきしなければならない。そのため、私は気象保護について悪化することのないこと、そして同時に種の保護についても、この対策の受け入れを決定した。私が提案したことは、最初 2024 年の種の保護に供している面積を、2023 年に一部に小麦を作付けすることである。農業者は、2023 年にこの農地に食料に供する作物を栽培できる。

種の多様性に供している農地と景観要因は、種の保護に役立てられており、これを覆してはならない。最終的に既に持続可能な農業のために、そして種と気象保護のために、価値多い貢献を果たしている。私は EU が私の提案を取り入れ、そして輪作の例外を認めてくれたことを喜んでいる。我々の農業者が、今年小麦の後にまた小麦（一時的な連作）を栽培できる。私は各州に今、提案する。第三国に穀物を安定的に供給するために、この方法でもってそして世界市場の安定化に寄与する。

私はこの妥協案（小麦連作）を皿にのせる。穀物を貯蔵タンクまたは飼料おけに入れ込むことでない。我々の例外は、2023 年のみ有効であることは明白である。私は全ての人々の意見を、受けとめる義務がある。なせならば、各州はこの妥協案に同意しなければならない。私にとってこれは、確定したことである。私は世界の中で飢餓を、論拠として乱用しない。種の保護については、既に我々は到達していることを、背後に置き去ってはならない。

この提案は以下のことを計画している。

一 最初に必須条件の農地休耕は、来年中断される。その代わりに、さらに農業生産のための耕作が可能になる。それは小麦など穀物（トーモトコシは無し）、ひまわりそして豆類（但し、大豆は除く）が対象である。これは既に 2021 年と 2022 年に、休耕状態の畑として証明済みである農地のみが有効である。

今ある種の多様性がさらに保護され、そして自然一種の保護の機能並びに持続可能な農業をもたらす。その中から科学的な分析で、約 10 万 ha から 18 万 ha の畑が、さらに穀物生産のために活用されると、推察している。

これでもって約 60 万ｔから 100 万ｔの穀物が補完的に生産できる。

一 輪作のための規則は、2023 年 1 回限りで中断される。これでもってドイツの農業者は、2023 年には小麦から小麦を、連作で栽培可能である。前年には約 38 万 ha、そして科学的な分析によれば、最大 340 万ｔ以上の小麦が生産される。

背　景：

農業経済が EU ―農業奨励を要求するとき、2023 年に「好ましい農業と有機の現状における面積確保のための基準（GLŐZ）」を制定しなければならない。

さらに畑地での輪作は、主たる作物の栽培を毎年交代し、そして種の多様性の農地における 4%の畑地転換が含まれている（GLŐZ)。ウクライナにおけるロシアの侵略戦争の影響の背景を前にして、EU 一委員会は加盟国に対して、2023 年の食料生産のために、主作物の年間変化（GLŐZ7）と耕作地の最低 4%を生物多様性（GLŐZ8）について、基準の例外的に緩和することを認めた。

必須の輪作を中断することとともに、非生産面積の 4%の義務もまた 2023 年に一時的に中断する。、

つまり、トウモロコシ、大豆そして短期伐採（収穫）する樹木を（短期期間内に木材―チップを生産する目的で、早く成長する樹木を栽培）生産する。

GLŐZ8 は、景観要素の保持の必須条件、例えば、生垣、灌木そして畑の中の樹木のような、そして一定の時期における生垣と樹木伐採禁止のような 2 つの観点は、EU ー委員会の例外規定からは明確に適用されない。

加盟国は例外規定を利用する場合は、遅くとも 8 月 28 日までに EU 一委員会にこの決定を報告する。この例外規定の利用報告がないときは、GLŐZ7 と 8 に関する規定が適用される。この決定でもって農業者は、自分の畑でもって世界的な食料安全保障のために、貢献を果たせる。EU 一農業奨励の領域において、気象一種の保護の業績の代わりに、2023 年から農地の休耕地のために、そして輪作のために有効な規則をさらに活用できる。このため、例外規定の適用義務はない。

休閑地で小麦を栽培

輪作体系の一部を小麦に

生物多様性保護の畑に小麦の栽培

世界の食料不足のため小麦の増産

2　食料選択に際して栄養評価ラベル（ニトリースコア）の改善

ー消費者の食料購入の支援を改善ー　　（2022・7・29）

ニトリ―スコア（Nutri-Score）運営委員会が問題解決のためのガイドライン適用のための科学委員会の提案に合意した。ニトリースコアの包括的な調整と普及のために、国際レベルでの責任を担っている。これはニトリ―スコアの「一般的な食料」のカテゴリーに該当する。例えば、魚―魚介類、穀類、既製品、パンーパン製品並びに肉ー肉製品のような食料が評価される。「脂肪ー油」のカテゴリーについても変更が決定された。

ニトリ―スコアを参考に食品を選ぶ

2021 年 2 月以来、中立の立場にある科学者が、ニトリースコアについて、専門家の立場から評価を行った。そして拡大された栄養価表示の手順に、国が関心をもっている。その目的は、修正の手順をさらに改善することである。

評価は人に訴える力があり、そして評価の細分化を高める。修正された手順は、ニトリースコアに消費者に訴える力を与え、そして食料選択に際して、消費者を適切に支援する。

現在の修正は科学的な証拠を基礎に、参画している関係者（消費者、健康組織並びに食品企業）の意見表明の配慮のもとに、策定される。適切な手順を通じて、ニトリースコアの評価は、関係者の食料関係の栄養推奨に適用される。

ー 食物繊維ー構成要素の調整によって、これの豊富な全粒穀物（精白してない穀物）と精製した代替品と区別される。これは特にパンーパン製品に該当する。
ー カテゴリー「脂肪―油」における調整は、植物性料理油との間の違いを可能にする。良質の栄養密度をもった飽和脂肪酸の少ない油は（例えば、オリーブ、ナタネそしてクルミ油のような)、良好な評価を得ている。
ー 「肉ー肉製品」のための補足的な規則でもって、このカテゴリーの産物は、現在の栄養勧告で食を制限する予定である。
ー 「魚と魚介類」並びに甘い又は無甘味な乳製品の差別化が出された。

現在の勧告は、3 つの部分の 1 つである科学委員会が、調整のガイドライ
ンによる評価を継続する。カテゴリー「飲み物」の結果は、今年中に委員会が公表する。2023 年には、いわゆる「果物と野菜」の成分が続く。同時に評価が終わり次第、運営委員会の調整方針適用のための、科学委員会が審議する。

ニトリ―スコアの利用条件を現実化するために。

ニトリースコアラベルを使用するために登録している企業は、使用条件変更を可能な限り、情報提供する。拡大された栄養価表示を使用する企業について、さらに新しい調整規則適用のための十分に長い移行期間が活用される。ニトリースコアに関心を持つ国々に対する共同の公告は、科学委員会の報告とさらなる情報が提供される。

背　景：

ニトロースコアの 5 段階のカラー文字組合せは、緑の A から赤の E まで、食品の栄養価を示している。産物グループの中で緑の A ―評価の食品は、赤の E の表示よりも栄養上健康であることを示している。現在の状況については、570 の企業が約 860 のニトリースコアのラベルを、ドイツの販売地域で登録している。

A(緑)のヨーグルト
栄養学的に最も好まい評価

E（赤）のコーラ（右端）
栄養学的に最も好ましくない評価

子供の健康を気遣う母は
Nutri-Score を見て購入

3　獣医：抗生物質の供給は前年対比で約 100 ｔの減少

ー畜産における国境を越えた抗生物質の削減計画が必要ー　（2022・8・8）

ドイツにおける獣医への抗生物質の提供量は、前年対比で約 100 ｔ減少している。獣医への抗生物質の提供量は、2021 年に比較して明らかに減っている。これは連邦消費者保護・食品安全局（BVL）の年次評価で報告されたものである。この供給量は前年対比で約 100 ｔ減少して、601t（-14.3%）に低下した。

この調査が始まった 2011 年以来の期間で、抗生物質の供給が約 65%減少したと考察される。特に喜ばしいことは、病気治療のために供給された抗生物質の量は、人にとって極めて重要なフルオキノロン類（Fluorchinolone）、第 3 世代、第 4 世代のセファロスポリン類（Cephalosporine）、そしてコリスチン（Colistin）の量が、それぞれ 2011 年以来、低い値になったことである。

- フルオロキノンの供給量は、前年対比で約 0.8 ｔ減少して 5.6 ｔになった。これは約 13%の減少に相当する。
- 第 3 世代、第 4 世代のセファロスポリンは、1.2 ｔ（-0.098 ｔないし-7.7%）
- ポリペプチボ系の抗生物質（ここでは主にコリスチン）についても、同じく減少している。2021 年の供給量が前年対比で-8.8 ｔないし-15%減っている。

これについて連邦食料・消費者保護省（BMEL）の政務次官シルビルベンダーが説明した：”抗生物質の投入を継続的に減少させているこの数字は、我々を鼓舞する。特にいわゆる予備の抗生物質の供給量の減少が、歓迎される。

連邦閣議は、7 月にオズデミール大臣から提案された、獣医薬剤法の改正を決定した。同時に我々は、現在有効となっている抗生物質ー削減計画をさらに厳しく実施している。コリスチン、第 3 世代と第 4 世代のフルオロキノロン及びセファロスポリンについては、例えば抗生物質ー削減計画において、「重み係数」を取上げている。”

獣医と家畜飼育者は、これでもってシグナルを設定している。この抗生物質の使用は、厳しい重要性でもって不可避的な最小量に減らす。前年のように供給する抗生物質の主たる量は、ペニシリンとテトラサイクリンとなっている作用物質であり、これはペニシン（Penicllline）約 43 ｔ、ないしテトラサイクリン（Tetrazykline）約 23 ｔの減少が記録されている。スルホンアミド（Sulfonamiden）については、前年対比で約 1.7 ｔ減少している。

抗生物質耐性（静かなパンデミック）の拡大と進展は、人間医学と獣医学においてグローバルな影響となっている。抗生物質耐性の拡大に対抗するために、国境を越えた問題に直面して、国内と並んでヨーロッパ規則もまた、緊急に必要である。そのため、連邦食料・農業省は当面 EU ーレベルでヨーロッパの獣医薬剤にまだ欠けている規則を、出来るだけ早く実施させる。家畜への抗生物質使用に関するヨーロッパ全体の抗生物質使用に関して、さらに使用制限を促進する。

さらなる情報：

2011 年以来、薬剤生産企業と卸売り業者は、毎年製造している抗生物質の量を、直接の報告を義務づけられている。全体的な提供量は、個別の家畜種毎に割当てられていない。なぜならば、多くの家畜種のための幾つかの家畜群について、該当する獣医薬品が認可されているからである。減少している提供量の基礎は、特に豚における農業上の飼育における頭数の減少である。

抗生物質の使用は治療のみ

予防での多用は耐性菌を出現させる。

過密な飼育状況が抗生物質の使用を必要とさせる。

抗生物質のモニタリングが簡素化

4　ウクライナ戦争の影響下に苦しむ漁業経営のための支援プログラム

―補助金額は 1 漁業経営当たり最大 35 000€（約 455 万円）―　（2022・7・11）

この支援プログラムの申請は、今から直ちに可能である。連邦食料・農業省は、今日（7 月 11 日）から特にウクライナ戦争の影響下で、苦しんでいる漁業経営のために目的を絞った小規模支援のスタート号砲を発した。漁業経営の小規模支援認可の指針でもって、ウクライナに対するロシアの侵略結果によって、経済的な影響を蒙っている漁業経営者に、経済的な支援を創出する。

ウクライナ戦争の影響で厳しい漁業経営に支援の手を

連邦食料・農業省(BMEL)オズデミール大臣：”漁業経営の経済状況は、既に多くの地域で厳しくなっている。値上がりしている燃料コストは、北海ーバルト海のドイツ漁業者にとって、今特段と厳しい。我々は、その苦境を助けるために、1000 万 €（約 17 億円）の強い支援プログラムを講じている。我々はこれでもって、戦争からの影響を特別に受けている漁業経営に対して、目的に合わせて早急に支援の手を差し伸べる。そのうち、直接または間接的にドイツの北海ーバルト海岸での漁業と結びついた、市場もまた恩恵を受ける。申請は、連邦農業・食料庁（MLE）に今日からできる。

漁業経営は、1 経営当たり 35 000€（約 455 万円）まで、申請が可能である。
これでもって BMEL は、EU 一法で可能となっている、各国の裁量の余地を十分に利用し尽くす。この小規模援助は、漁業経営が 2021 年に漁業活動した漁船が入手できる。加えて前提条件は、漁業において 2022 年 2 月 24 日以来、漁船が操業しているか、または今年中なお活動していることである。

この個別経営援助の額の基本は、2017 年、2018 年そして 2019 年に関する経営コストが、2022 年における経営コスト増加との比較である。この基本のもとに、連邦付属のチューネン研究所が、漁船当たり以下の概算率を科学的に計算している。

補助対象及び補助金額

	具体的な補助対象名	補助金額 €(円)
1	パッシブフイッシングギア　10 m以下の船	450　（58 500）
2	トロール船　10m 以上 （網口に口を広げる棒のついた底引き網）	4 300　（560 000）
3	デメルサルム魚用漁具を装備した漁船 10~12m （海底で生活する魚）	2 000　（260 000）
4	パッシブギア付き漁船 10~12m	1 100　（143 000）
5	トロール船　10~12m	4 300　（560 000）
6	パッシブギア船　12~18m	1 550　（201 500）
7	デメルサム船　12~18m	9 500　（1 235 000）
8	トロール船　12~18m	13 300　（1 729 000）
9	パッシブギア船　18~24m	9 500　（1 235 000）
10	デメルサム船　18~24m	35 000　（4 550 000）

11	トロール船　　18~24m	24 000　（3 120 000）
12	遠洋漁船　　18~24m	9 500　（1 235 000）
13	パッシブギア船　24~40m	35 000　（4 550 000）
14	この漁具を積んだ船　24~40m	35 000　（4 550 000）
15	トロール船　　24~40m	35 000　（4 550 000）
16	貝漁船	35 000　（4 550 000）
17	デマーサル漁具を装備した深海船	35 000　（4 550 000）
18	遠洋漁具を装備した深海船	35 000　（4 550 000）
19	トロール船　　40m 以上	35 000　（4 550 000）

漁業支援プログラムー補助の事例

貝漁船への補助金ー 35 000€

トロール船補助金ー 35 000€

底引き網補助金 13 300€

５　２０２２年ドイツ森林デー・今年度のテーマ・「生物多様性の体験を！」

ー巨大な挑戦・気象変動に抵抗力のある森林をー　（2022・7・21）

連邦食料・農業省（BMEL）のイニシアチブで、「2022 ドイツ森林デー」を 2022 年 9 月 16 日から 18 日迄開催する。今年のテーマは、「生物多様性の体験！」のモットーのもとに、森林とかかわっている林業者、森林所有者並びに関連団体、市民組織を、森林における多くの併催行事に招待する。森に心をおくあらゆる人々が、この日に森を訪問し、そして森林関係者と対話ができる。

その際、「生態系システムの森における生物多様性」並びに生物多様性の保護、それでもって様々な機能、そして中心点に森林の機能がおかれている。
我々の森は、巨大な挑戦の前に立っている。異常な暑さ、干ばつそして暴風のような極端な気象を伴った気象危機は、森林にとって大きな危険を意味している。気象の安定と将来的にそれを固定されるために、生物多様性を保持し、そして奨励することも必要である。同時に環境条件と極端な気象に対する、森の生態系システムの適応能力を高める。生物多様性は森林に安定性をもたらし、そして森の抵抗力を強化する。 森林関係者と森林所有者は、森林管理の持続的、多面的な形態に貢献する。

そして生物多様性を奨励し、将来世代のために森を保持する。その際、連邦と各州は森林保護をさらに促進するために、多様な政策でもって支援する。
勿論、森林の将来を確保することは、社会全体の課題でもある。特に森林所有者と森林に関心をもつ者との間の、開かれた対話を必要とする。連邦食料・農業省のイニシアチブでドイツ森林デーにおいて、ふさわしい分野のイベントと対話集会を設定する。2022 年ドイツ森林デーは、2016 年、2018 年そして 2020 年、次いで第 4 回目の開催である。2020 年には、600 以上の併催行事を実施している。詳しい情報は、ドイツ森林デー 2022 のサイトで情報を入手できる。

対話：2020:ドイツの森を語る
（2020 年）

森の中のサイクリングの集い
（2020 年）

森林所有者の大会
（2018 年）

森の中のハイキング
（2018 年）

森林生態系を学ぶ
（2018 年）

林業作業機械展
（2016 年）

２０２２・８・１２ 訳
青森中央学院大学
地域マネジメント研究所
中川 一徹